

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 699

政策体系	41	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 1. 社会教 現年		
事業名	人権教育事業				
細事業名	人権教育事業				
				評価表作成者	教育委員会 社会教育課 平井 静男

1. 事業の概要

市民の人権意識の高揚を図ることを目的として人権に関する講演会等を実施する。
 人権教育講座を一般市民を対象に実施する。
 人権啓発推進委員対象研修会を各地区別に実施する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

- ・人権についての啓発・教育を行い、誰もが住みよい町を構築していく事業
- ・各集落において人権啓発の先頭に立つてもらふ委員に対して、研修を深める事業
- ・各集落等の研修を支援していくための視聴覚教材の活用事業

②事業を実施する必要性

- ・あらゆる人権問題を解決していくために、過去を勉強し、現状を認識していくことで、一人ひとりの人権意識を高めていく事業であり、22年度は①同和問題（結婚差別）に対する研修、②児童虐待について、③障がいのある方について、④職場の人権課題についての研修を行った。
- ・各集落において委嘱している委員の研修を行い、その研修により得たものを各集落に持ち帰って啓発していくことにより、身近なところから人権保護の意識を啓発していくための研修を行った。
- ・自主研修を行う際の視聴覚教材を購入など、誰もが簡単に研修を実施できる手助けを行う。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	1,906	1,187	691	392	466	666	666
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	170	170	170
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,906	1,187	691	392	296	496
職員等の従事人員	人/年	—	0.75	0.88	0.84			
人件費	千円	—	5,182	5,727	5,413			
事業費総額	千円	—	6,369	6,418	5,805			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

人権教育講座講師報酬	180,000円
各集落推進委員講師報酬	160,000円

5. 事業結果の概要

- ・人権教育講座（市民講座） 4回
- ・主任人権啓発推進委員等研修会
 ビデオ視聴による研修会 4回、
 視察研修（立命館大学国際平和ミュージアム他）1回、
 外部講師による研修会 4回

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

・講座、研修会等を多くの方々に参加していただけるように内容・人選・開催場所などについて議論した。
・人権に関する啓発を行うことにより、「一人ひとりの人権を尊重し、共に生きるまちづくり」を推進した。
・各集落における自主研修実施に対するさらなる啓発と、研修会・講座等への参加者確保へ向けて、より身近なテーマなどを選んでいく必要がある。
・22年度は視察研修（立命館大学国際平和ミュージアム・ツラッティ千本）事業が実施でき、座学（講義）では体感できない人権研修を実施することができた。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

・講座、研修会等を多くの方々に参加していただけるように内容・人選・開催場所などについて議論した。
・人権に関する啓発を行うことにより、一人ひとりの人権意識が尊重され、より住みよいまちへつなげることができた。
・各集落における自主研修実施に対するさらなる啓発と、研修会・講座等への参加者確保へ向けて、より身近なテーマなどを選んでいく必要がある。
・21年度は視察研修（リバティおおさか）事業が実施でき、座学（講義）では体感できない人権研修を実施することができた。

■平成21年度の所属長評価

①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
講座・研修会等を多くの方々に参加していただけるように、内容・人選・開催場所などについて議論した。
②当該事業のアピール事項
人権に関する啓発を行うことにより、一人ひとりの人権意識が尊重され、より住みよいまちへなることが出来る。
③反省点、今後の展開・方向性等
各集落における自主研修実施に対するさらなる啓発と、研修会・講座等への参加者確保へ向けて、より身近なテーマなどを選んでいく必要がある。